

理事長 根ヶ山 光一
(早稲田大学教授)



子どもは私たちの未来を担う存在ですが、しかし昨今の子育てをとりまく状況はますます混迷の度を強めており、親やおとなが子どもにどう接すればいいのかわからないという悩ましい深刻な状況が続いています。

子育てにおける母親の役割には大きいものがありますが、かといって子育ては母親だけが担うものではありません。それは父親をはじめとする家族や、保育所・幼稚園・学校などの保育士・教諭、あるいは地域の人たちがさまざまな形で関わっている豊かな営みです。

本協会は、保護者や現場で子どもに日々関わる先生方、それを研究対象とする研究者や学生、あるいは子どもに関する行政の場に身を置きなさんといっしょに、そういった今日の子育ての姿を正しく理解するとともに、その困難な状況を打開する道を探ろうとしています。とくに講習会や研修事業を中心に、子育てについての学習の場を設け、それを通じて地域社会に貢献することを当協会の大きな目的の一つとしております。

最近、子育て支援の名の下に、社会が子育てを支えていこうとする機運が盛り上がってきています。自治体等において展開される子育て支援活動もその一つでしょう。本協会も講習会による人材養成と資格認定を通じて、そのような活動に積極的に貢献しようと努力しています。どうか本協会の趣旨にご賛同いただき、ぜひごいっしょに活動してまいります。

創設者 故・藤永保 より

お母さんに抱かれた赤ちゃんが、隣の席に座っています。もう7～8か月にもなるのでしょうか。好奇心いっぱい目を見開いて、こちらを見つめています。思わず見つめ返すと、照れたように顔をそむけ、しばらくするとまたじっと見つめてきます。ありふれた光景といえ、それまでですが、こんな場面に出会うと、私はいつも一種の感動を覚えます。

「遊ぶ子どもの声聞けば、我が身さえこそゆるがるれ」という中世歌謡の一節も、こうした感動をうたったものでしょう。

だれしも、昔は、幼な子だったのです。子どもは、心の故郷なのです。裏返していえば、子どもは世界の未来でもあります。幼な子の瞳の輝きがいつまでも消えないよう、祈らずにはいられません。

ところが、最近になって、この輝きがだんだん薄れてきているように見えるのは本当に気がかりです。

毎日オンブをしないと落ち着かない子、自慰行為の止まらない子、見境なく嘔みつく子、などなど…。問題を抱えたまま小学校に入学すれば、いわゆる「小1プロブレム」が爆発するのは無理ありません。

一人でも多くの子育てに携わる方々と手を取り合って、子どもたちの瞳がいつまでも輝きつづけるよう、問題を考えていきたいと願っています。**保育所保育士、幼稚園教諭、児童館保育士、小学校教諭ならびに広く一般の保護者のみなさま、私たちの講習会にご参加ください。ごいっしょに育児不安、養育不全、児童虐待等の問題を考え、解決への途を求めていきましょう。** 私たちも、私たちが伝えうる限りの知識や体験をお話してまいります。

藤永 保 (2016年1月21日逝去)
(NPO法人設立時にお書きになられたものです)



子どもの輝く瞳でいっぱいの社会へ

保育：子育て アドバイザー



平成30(2018)年度版
講習会・資格制度のご案内

育児不安、養育不全
児童虐待を未然に防ぐために



＊平成30年度 保育：子育てアドバイザー 講習会のご案内＊

▶ 春期講習会 (定員40名)

5月26日 (土)	子どもの性格を理解し、保育に生かす -人間性と気質、性格検査の実習を交えて- 東洋大学名誉教授 杉山 憲司 先生
	乳幼児の保健衛生 -これだけは知っておきたい- 元東京大学医学部教授 早川 浩 先生
5月27日 (日)	発達障害とは何か -自閉スペクトラム症・限局性学習症・注意欠如多動症- 東京未来大学教授 渡辺 千歳 先生
	保育制度の課題 -「みんなで子育て」という思想とシステム- 元こども教育宝仙大学教授・学長 池田 祥子 先生
	歌いかけ・読み聞かせの発達心理学 白百合女子大学教授 田島 信元 先生

▶ 夏期講習会 (定員40名)

8月4日 (土)	母親だけが子どもを育てるのか? -アロマゼリングと子別れ- 早稲田大学教授 根ヶ山 光一 先生
	子どもの頃の養育環境はその後の人生にどう影響するのか? -長期縦断研究から- お茶の水女子大学教授 菅原 ますみ 先生
8月5日 (日)	遺伝と環境からの子ども理解 -進化教育学:平等公平な教育を乗り越えて- 慶應義塾大学教授 安藤 寿康 先生
	都会で創ろうナチュラル・キンダーガーデン -子どもと自然と“森のようちえん”- 龍谷大学教授 金子 龍太郎 先生
	子どもから「何があったか」を聞く技術 -司法面接の方法を参考に- 立命館大学教授 仲 真紀子 先生

▶ 秋期講習会 (定員40名)

10月27日 (土)	子どものアレルギー 元東京大学医学部教授 早川 浩 先生
	食育 -保育における子どもの食と発達- 共立女子大学教授 河原 紀子 先生
10月28日 (日)	子どもを対象とする心理療法 -描画法を中心として- 放送大学大学院教授 小野 けい子 先生
	発達障がいのある子どもを育てる親の心理 東洋大学教授 松田 英子 先生
	子どもは変わる・大人も変わる -乳幼児虐待からの再生:青年期は第二の誕生期- 十文字学園女子大学理事・特任教授 お茶の水女子大学名誉教授 内田 伸子 先生

▶ 研修科目枠組み

科目Ⅰ	気になる子どもたち
科目Ⅱ	発達・教育からの子ども理解
科目Ⅲ	健康と保健そして医療
科目Ⅳ	発達障がいと心理臨床
科目Ⅴ	家族・保育者による子育て支援
科目Ⅵ	日本の子育てと多文化共生
科目Ⅶ	他領域連携科目(食育、環境学習など)

▶ 資格取得について

＊春期・夏期・秋期講習会のうち、5講座を受講することで、初級アドバイザー資格が取得できます。

＊春期・夏期・秋期講習会のうち、10講座を受講し、課題レポート審査に合格することで、中級アドバイザー資格が取得できます。

＊上級アドバイザー資格は、春期・夏期・秋期講習会のすべての講座を受講し、初級・中級資格を取得して、指定テキストブックによる筆記試験に合格することで取得できます。

▶ 受講料

各20,000円(資料代含む)(当日徴収、領収書発行)

※1講座のみ受講の場合は各4,000円

▶ 会場

(株)公文教育研究会14A会議室
(東京都港区高輪4-10-18 京急第1ビル14階)

▶ お問い合わせ・お申し込み

＊ファックスまたはメールでお願いいたします。

NPO法人 保育：子育てアドバイザー協会事務局(担当・岡崎)
(〒273-0044 千葉県船橋市行田1-46-8-105)

ファックス番号：047-439-7601

メールアドレス：hoikusodate-jimukyoku@mbr.nifty.com

＊協会役員

〈理事長〉 根ヶ山光一 早稲田大学教授

〈副理事長〉 岡本 依子 立正大学准教授

〈理事〉 小野けい子 放送大学大学院教授

勝浦 範子 國學院大學栃木短期大学特任教授

榊原 洋一 お茶の水女子大学名誉教授

菅原ますみ お茶の水女子大学教授

高杉 敏江 あかね保育園園長

田島 信元 白百合女子大学教授

中澤 潤 植草学園大学・短期大学学長

〈監事〉 池田 祥子 元こども教育宝仙大学教授・学長

田中 規子 中央大学非常勤講師

〈顧問〉 内田 伸子 お茶の水女子大学名誉教授
十文字学園理事・
十文字学園女子大学特任教授

杉山 憲司 東洋大学名誉教授

〈参与〉 北山ひとみ (株)二期リゾート代表取締役社長

佐々木丈夫 (株)公文教育研究会

荘巖 舜哉 元京都光華女子大学教授

松田 英子 東洋大学教授

渡辺 千歳 東京未来大学教授

〈事務局長〉 岡崎愛久男

協会ホームページ 「保育子育て」で検索

<http://hoiku-kosodate.jp/>